

33 (テーマ設定部門) テーマ: 『“住民の底力”による地域の防犯力の再生』

事業名	住民と行政の協働による「安全な暮らし情報」の収集と情報伝達を通じた地域協力コミュニティ活性化活動
実施主体	津田地区地域安全推進委員会
県担当課	警察本部生活安全企画課

事業の成果

事業の目的 [地域安全]

- 地域の住民が安全で安心な暮らしを維持することを目的とし、従来から津田地区地域安全推進委員会や関係団体が取り組んできた「安全マップ」「こども110番連絡所地図」「通学路パトロール」等の活動をより活性化させ、安全安心の環境づくりは地域コミュニティの絆が重要との観点から、新しい情報を早く住民に伝達することによって、地域住民の興味関心と参画意欲を向上させ、本活動の作業を住民で行うことにより、より強固なコミュニティ形成(人的ふれあいを重視した)を目指すものである。

事業の内容

- 安全マップ作成のために街角探検(昼の部・夜の部)を実施し、危険箇所の調査を行った。
- のぼり旗や懸垂幕、横断幕を設置し、啓発活動を行った。
- ホームページを開設し、活動報告を随時行った。
- 電子版安全マップを作成した。



目的の達成状況 [十分達成できた]

- 事業の目的を住民が理解し、取り組みに対する参画意欲を持ってもらったことで、安全マップの作成のための町内の調査は、夜間で寒い夜だったにもかかわらず、小学校PTAと小学生それに町内関係者、交通安全指導員等多数参加してもらった。
- 参加人員は約300名。

反省点・改善点

- 中学生・高校生の事業参加(それぞれの世代の目線で見えた地域の問題点が集約できる。)

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 安全マップ作成計画(案)を提出し、事前のアドバイスを受けた。

県との協働効果 [十分効果があった]

- 住民意識の醸成を図ることが出来た。
- 啓発活動がより充実した。

県への要望事項

- 県内の同事業に取り組んでいる地区の活動状況の情報と全国ネットの活動情報を随時提供していただきたい。

反省点・改善点 [特にない]

市町村との協働 [協働して実施した]

- 安全マップの背景地図として市の所有する地図を活用した。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- ホームページに安全マップを開設、内容により随時情報を更新し、住民に提供する。
- 電子マップ活用事例として、中山間地域研究センターで事例発表。

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 津田地区地域安全推進委員会の活動費をあてている。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 県内の同事業に取り組んでいる地区の活動状況の情報と全国ネットの活動情報を随時提供していただきたい。

